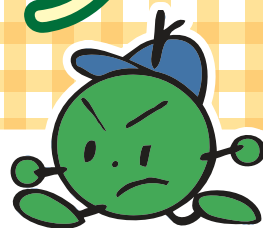




がんばって
います!

こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



木曾岬町ホリデー教室(木曾岬町)

・会員数76名 ・サポーター数6人 ・クラブの構成 地域 ・代表サポーターの水元さんに聞きました。

いつどのようにできたのですか?

木曾岬町ホリデー教室は、20年度よりこどもエコクラブに加入し様々な活動をしています。ペットボトルや牛乳パックなどを再利用する工作やエコ調理などを取り入れ、学びながら子どもの居場所づくりをしています。



ふろしきでリュックサックを作ります。



ペットボトルでランプ作りに挑戦!



何がどのくらい入るかな? ちなみにこれはスイカみだよ。

どのような活動をしていますか?

今年の夏休みは、三重県環境学習情報センターの出前講座で「ふろしき講座」をお願いし、日本の文化とともにゴミを減らす工夫を学びました。50年前、木曾岬町は伊勢湾台風で大きな被害を受けました。そこで、防災や環境にも興味を持ってもらいたいと担当の吉田さんにお話したので、ふろしきでリュックサックの結び方を教えていただきました。

この他にも、いらなくなった紙切れなどを使って、こいのぼりとかぶとを作ったり(4月18日「エコ工作」)、不要になったガラス瓶を使って母の日のプレゼントを作ったり(5月9日「母の日のプレゼント」)、空きペットボトルを使った工作(8月20日「ランプ作り」)などを行いました。

どのようなことを子どもに伝えたいですか?

以前から日本の文化や季節感を伝えたいと企画していますが、こどもエコクラブに加入してから、日本の文化には様々な「もったいない」の文化があり、季節感も環境のひとつだと理解することができました。普段すててしまうものなども工夫によっては楽しいおもちゃに変身したり、すてきなプレゼントに変わったりするといった経験も、“ものを大切にする”という文化の継承につながっているのではないかと思います。

また、エコを前面に出して強制するのではなく、工作や体験活動などを通して楽しむこと、楽しめる内容を創造することなどをいつも心がけています。



日本の文化や季節感を知るために、カルタとりをすることもあります。

こども
エコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を開始することができます。

入会費・登録費無料 ※詳しくは環境学習情報センターまで



イメージキャラクター「エコまる」